

**Webマーケッターが知らない
スピードの価値の本当のすごさ！**



かずとよ
たねむら

種村和豊

GDO

シニアエンジニア

はじめ
むらた

村田創

IDOM

Webマスター



**Webマーケッターが知らない
スピードの価値の本当のすごさ！**

自己紹介

占部 雅一(うらべ まさかず)

株式会社ドーモ 代表

デジタルハリウッド大学教授



**1. ほとんどの人はスピードをみていない！
という事実**

時系列で計測していますか？ 実は、50秒！100秒！

Page Load (Syn),

14.43s

Fully Loaded (Syn),

17.42s

Visually Complete (Syn)

16.3s

125s

100s

75s

50s

25s

0s

23 Jul

24 Jul

25 Jul

26 Jul

27 Jul

28 Jul

29 Jul

30 Jul

31 Jul

1 Aug

2 Aug

3 Aug

4 Aug

5 Aug

Page Load (Syn),



amazonはどれくらい速いのか？

4Gの場合



750 ms 1 000 ms 1 250 ms 1 500 ms 1 750 ms 2



1.5秒

3Gの場合



1 000 ms 1 500 ms 2 000 ms 2 500 ms 3 000 ms 3 500 ms



2.5秒

一番使って欲しい動線（ショッピング・ジャーニー）で測る。



この4ページ分の移動も、お客様に時間をいただいています。

2. ヤバすぎるGoogleのスピードアップデート



2018年7月から始まったGoogleのUXに関する変更

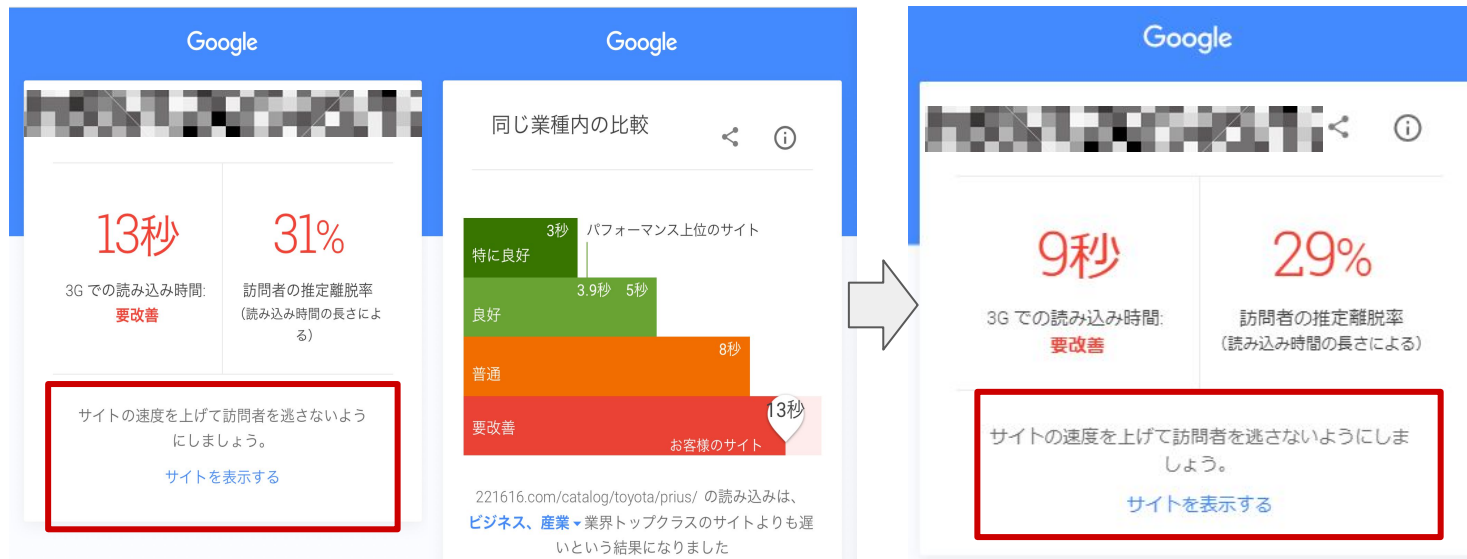
遅すぎるサイトに対して、
影響がでるとされていたが、



Speed Up date

事前(計画時) 2018/02

事後(評価時) 2018/10/02



データベース移行により速度改善したが、

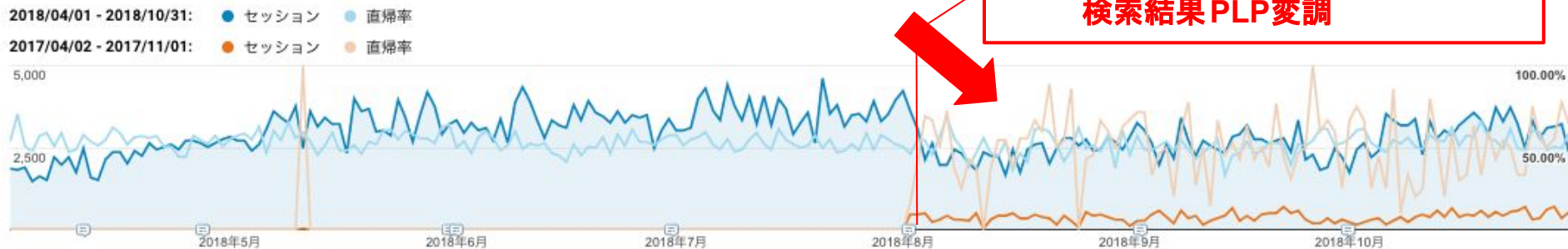
基準には届いていない模様・・・

この間に、何が起こっていたか

2017/08 サイトリリース

2018/08 スピードアップデート

流入減少
検索結果PLP変調



【7月末～】

スピードアップデート「速度は200ある指標のひとつ」と言われていました

【10月～】

ページのダウンロード時間が1000ミリ秒を超えると、Googlebotがクローリングに制限をかける可能性あり

<https://www.suzukikenichi.com/blog/googlebot-may-limit-crawling-if-time-spent-downloading-a-page-is-over-1000ms/>

Google、Page Speedアップデートの影響を受けた遅いサイトに速度改善を要求

<https://www.suzukikenichi.com/blog/google-has-begun-to-send-out-a-warning-to-really-slow-sites/>

2018/10/17

2018/10/18

2018/10/29



9秒 → 5秒となり、「良好」に

訪問者の推定離脱率は、31%→19%に。

離脱回避で、接客機会増。

4秒になると推定離脱は10%

さら大幅に離脱者を止められる

(少し意図は感じますが…)

3G標準を、3-4秒にしたいのが伺える

3. スピード改善は必ずペイできる



- **0.1秒の遅延で1%の売上げ損失が発生**

Amazon発表 2006年

- **1秒の遅れて7%の売上げ損失が発生**

米調査会社 AberdeenGroup 2011年

- **表示に5秒以上かかると74%のユーザーが離脱する。**

Google 2013年

- **3秒を超えると一気に直帰率が増え、5秒では38%まで増加する！**

US Webサイト監視サービス Pingdomレポート 2018年

しかし、
マーケッターは
ツールが大好き！

スピード改善はウソをつかない！



マーケツールは、全部に効くのではなく、局所・一部に効果がある

速度は全てのページ、全ての訪問者に対して効用を持つ

1秒短縮で 7%売上アップ！

GDO 

スピード改善は必ずペイできる

- ・水平展開がカンタン
- ・一度入れたら、持続する。
- ・マイナスはない

4. **スピードは、
勝てるんだけど、道のりは険しい。**

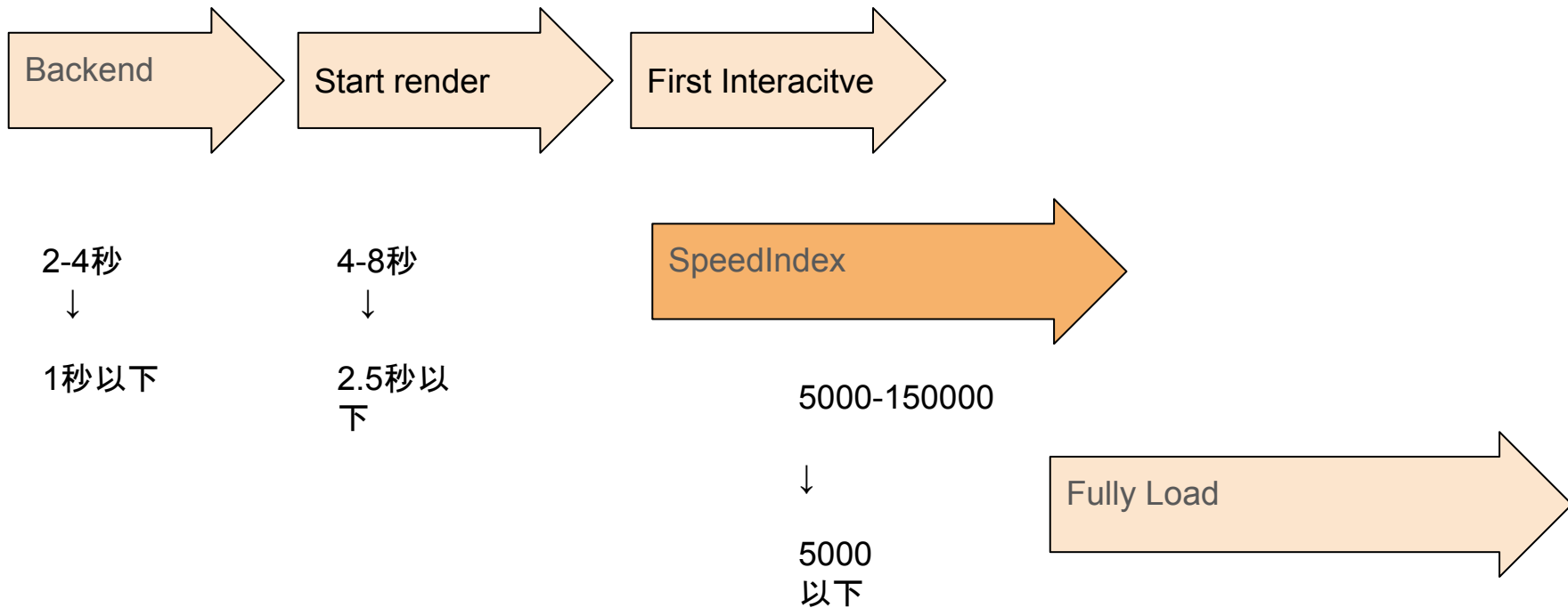
5. 計測しなければ改善できない！

どういう指標で考えていくか？

なにを見るか？

どう見るか？

速くするための指標とは？



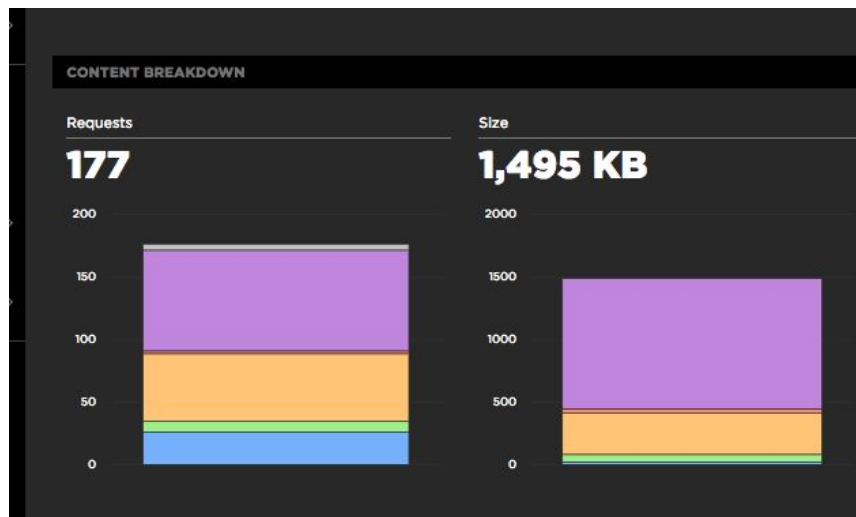
CDNの誤解

入れただけでサイト表示が早くなると限らない!

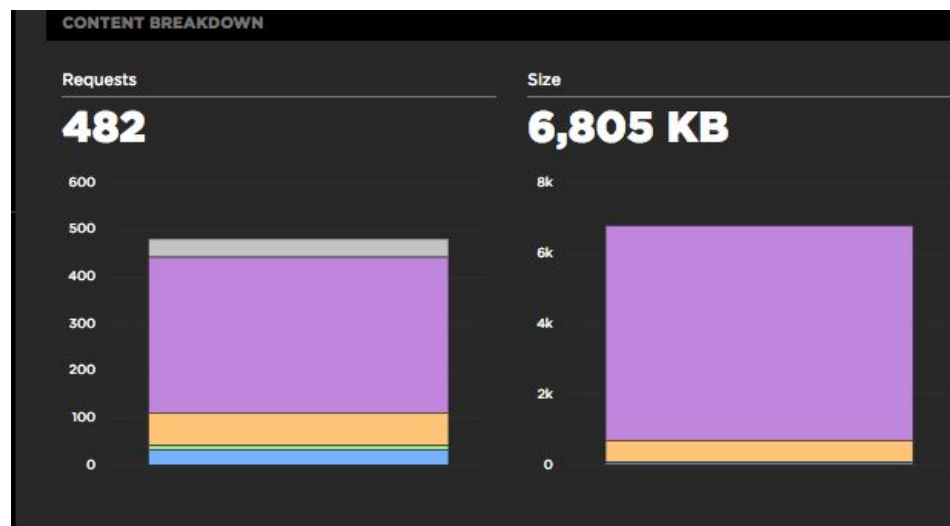
適切なCDN設定、チューニング、WEBサイトパフォーマンスのモニタリングは必須!

※特にCDNのオフロード率(CDNがどれだけ効率的にキャッシュしたコンテンツを提供出来ているかどうかの指標)は必ずチェックすべき。

どうするリクエスト数 ファイル容量！



Shop-list



A社

改善の一步は計測から～GAと同じように

- ・時系列に調査。いつ、どのように遅いのか？
- ・ベンチマーク。競合と比べてどう違うのか？
- ・改善方法。どう優先順位をつけて改善していくのか？
- ・アラート機能。チーム全体でスピード意識を持つ
- ・パフォーマンスカルチャーを社内に根付かせる